



国立大学法人等のキャンパスを創造する 施設系技術職員



国立大学法人新潟大学仕事紹介ガイド
2020

国立大学法人新潟大学施設管理部

国立大学法人等とは

文部科学省所管の国立大学法人，大学共同利用機関法人，
独立行政法人国立高等専門学校機構 等

国立大学法人

- 全国に86ある国立大学が，それぞれ独立した法人格を持って運営されています。

大学共同利用機関法人

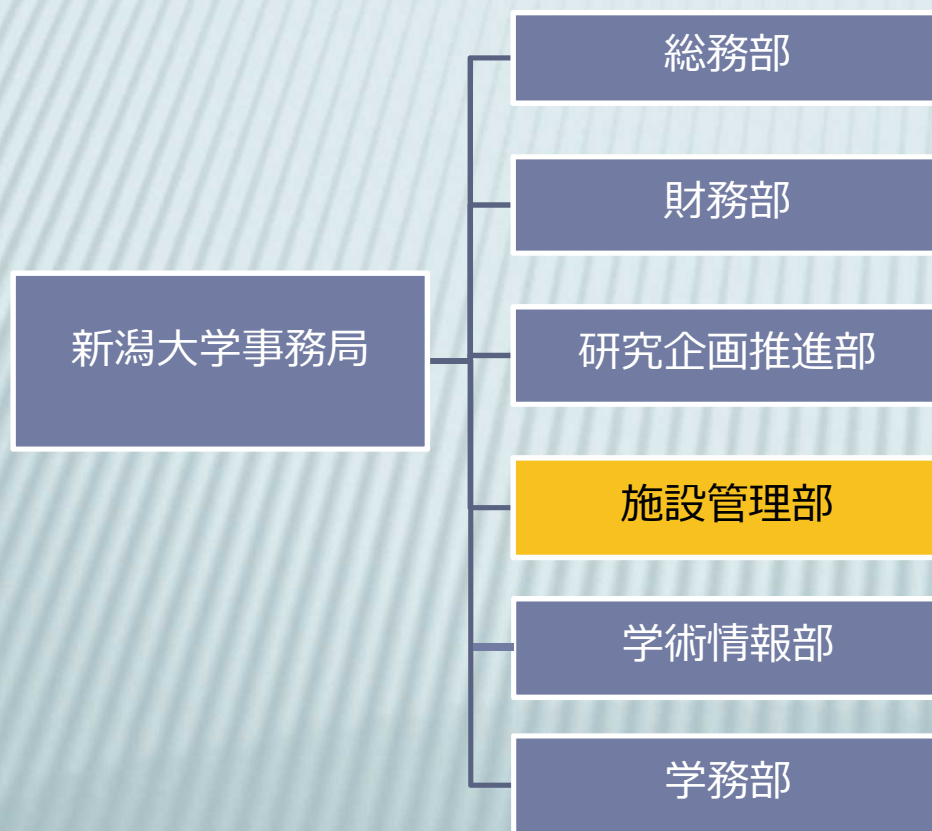
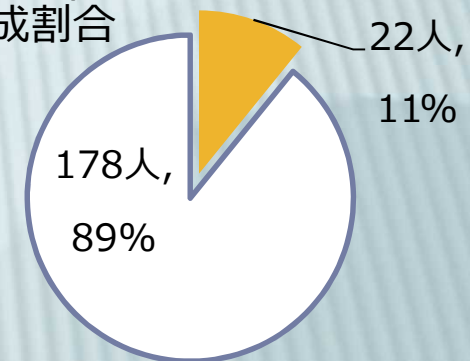
- 国内外の研究者に研究の場を提供し，先端的な共同研究を行う中核的研究拠点となっており，人間文化研究機構，自然科学研究機構，高エネルギー加速器研究機構，情報・システム研究機構，大学改革支援・学位授与機構の5つの機構が設置されています。

独立行政法人国立高等専門学校機構 等

- 独立行政法人国立高等専門学校機構は，全国に51ある国立の高等専門学校で構成されています。その他，22の機構が学校教育，社会教育，科学技術等の事業を実施しています。

施設系技術職員が所属する運営組織

事務局での施設系技術職員の
構成割合



専門別	
建築	9
電気	6
機械	7
合計	22

その他一般事務 3人
(再雇用・非常勤除く)

キャリアパス, 資格, 研修

職員の取得資格, 能力, 勤務評価等により上位ポストに昇進していきます。
職名, 職階は各法人で異なります。



取得資格

- 建築士
- 技術士
- 電気主任技術者
- 建築設備士
- エネルギー管理士
- 施工管理技士 など

研修制度

- 新規職員研修
- 係長研修
- 中堅職員研修
- 幹部職員研修
- 技術職員研修
- 語学研修, 会計研修 など

採用後に, 諸事情によって他の国立大学法人等に異動を希望する方については, 法人間で調整を図る仕組みがあります。

施設系技術職員の主な業務（１）

建築・土木

大学施設（建物・工作物・道路・植栽）の構造・意匠，キャンパス整備等に関する企画，計画，設計・積算，工事監理，維持保全等を行う。

電気

大学施設（建物・工作物）の電力設備（電灯など）・情報設備（LANなど）等，電気設備に関する企画，計画，設計・積算，工事監理，省エネ・省CO₂対策，維持保全等を行う。

機械

大学施設（建物・工作物）の衛生設備（水道など）・空調設備（エアコンなど）等に関する企画，計画，設計・積算，工事監理，省エネ・省CO₂対策，維持保全等を行う。

○給与・勤務時間など（新潟大学）

月 給：国立大学法人新潟大学職員給与規程による

勤務時間：8時30分～17時15分

休 暇：土，日，祝日 また，有給休暇（4月1日採用で15日，その後の1月1日に20日付与）および夏季休暇と年末年始休暇があります。

勤 務 地：新潟大学 五十嵐キャンパス，旭町キャンパス内

※備考

建築分野では一級建築士の資格を取得することが望ましいです。

また，電気分野では「電気主任技術者」（第三種または第二種），機械部門では「エネルギー管理士」の資格を取得することが望ましいです。

最初はわからないことだらけかもしれませんが，恐れたり，ためらったりせずに応募して欲しいです。
一緒に快適でよい良い新潟大学を作っていきましょう！

施設系技術職員の主な業務（２）

施設マネジメント

- 施設マネジメントとは、総合的かつ長期的視点に立って、施設を確保し活用するために行う一連の取組のことで、各国立大学法人で特色ある取り組みが推進されています。

キャンパスづくりの在り方※

- 既存キャンパスの長所を生かしていくことを前提に、知恵とアイデアを集め、大学の機能強化や個性・特色の伸長につながるキャンパスに再生するとした「創造的再生」がキャンパスづくりの基本的考え方として示されています。

※「キャンパスの創造的再生～社会に開かれた個性輝く大学キャンパスを目指して～」報告書（概要）より
文部科学省 平成25年3月 国立大学等のキャンパス整備の在り方に関する検討会

企画・計画, 設計・監理

- キャンパスマスタープラン（長期計画）の策定
- キャンパス整備に関する各種委員会等の運営及び立ち上げ
- 施設整備事業の計画・実施（基本設計, 実施設計 等）
- 都市計画, キャンパス計画に係る地域との連携
- 工事及び各種業務の入札・契約の実施
- 工事及び各種業務に係るコスト, 品質等の管理
- 建築・土木・設備に関する技術的事項への対応 等

施設系技術職員の主な業務（３）

維持保全，施設管理

- 長期修繕実施計画の策定
- 施設の点検・評価及び資産価値の維持・向上
- 施設の保守点検・運転監視・修繕・緑地管理等に関する技術的事項への対応
- 施設・環境・インフラ維持保全・美化の実施
- スペースの有効活用
- 宿舍施設の管理運営（新潟大学では財務部が所掌）

等

省エネ，環境・安全

- 温暖化・省エネルギー対策の企画立案・実施
- インフラ整備の企画立案・実施
- 交通対策，屋外環境整備
- 防火・防災に関すること
- 環境安全管理に関すること
- 安全教育・研修に関すること
- 環境保全に関すること

等

施設系技術職員の主な業務（４） 企画立案から維持保全まで

企画立案

- キャンパスマスタープラン等の策定
- インフラ長寿命化計画の策定
- 中期目標・中期計画の策定
- アクションプラン、マニュアルの策定

計画

- 現地調査
- 関係官庁との協議・調整
- ユーザーヒアリング
- 基本計画の作成

実施設計

- 基本設計書の作成
- 設計（自前、外注設計委託）
- 設計コンサルタントとの調整

工事監理

- 工程、安全、品質管理等の確認
- 定例会議への参加
- 各種検査の立会

完成

- 完成・引き渡し
- ユーザー満足度調査
- 省エネ等の達成目標調査

維持保全

- 定期点検・定期報告
- 修繕計画の作成、実施

計画から完成までは数年。完成後は、建物を取り壊すまで、良好な状態に維持向上させていくことが施設系技術職員のミッションとなっています。

国立大学法人等の建物保有面積と必要予算

(2019年5月1日現在)

機関	保有面積(m ²)
国立大学法人	26,176,704
共同利用機関等	759,290
高等専門学校	1,699,485
合計	28,635,479

建物の新築，改修整備やインフラの更新等に必要な予算規模は数千億円，また，建物の維持管理費は数百億円となっています。

- 施設整備にかかる費用は，国立大学法人の支出に対して大きなウェートを占めており，法人の運営に大きく関わっています。
- 施設系技術職員は，専門的知識を駆使して経費節減や多様な財源（寄附，地域連携，自己資金など）を確保するなどして，大学法人等の運営に大きく貢献しています。

キャンパス整備に対する声

国立大学等のキャンパス整備の在り方に関する検討会（平成25年3月27日）資料より
文部科学省大臣官房文教施設企画部計画課整備計画室

学 生

- ・「屋内の休憩スペースに不満を感じている。」
- ・「キャンパスの印象は殺風景である。」
- ・「広場，カフェ，食堂・売店を充実してほしい。」
- ・「このキャンパスは人との出会いがあり，楽しい。」

卒業生

- ・「国や世代，企業・地域・大学間の壁を取り払い，徹底的にオープンで，多様な交流が生まれる環境を作ってほしい。」
- ・「人間形成は大学時代において大切なこと，大学からも学生に様々な出会い・ふれあいの場を提供してあげてほしい。」

教職員

- ・「学生の居場所がない。」
- ・「図書館機能にラーニングコモンズが必要。」
- ・「駐車場確保が課題。」

行 政

- ・「セキュリティの問題はあるが，区の散歩コースにキャンパスも組み込み市民を招くとよいのでは。」「大学の持つシーズは不可欠，これからも産学官連携では，継続的協力を。」

連携企業

- ・「地域の企業も教育資源として力になりたい。」

周辺住民

- ・「地域の高齢者の方は，学生と話す機会があるとうれしい。」「高校生や中学生が気軽に入れる場所になってほしい。」

施設系技術職員は，多種多様な方からの意見を大切にし，持続可能なキャンパスづくりを進めています。

～新潟大学のキャンパス等～



【図書館】



【総合教育研究棟】



附属新潟校園



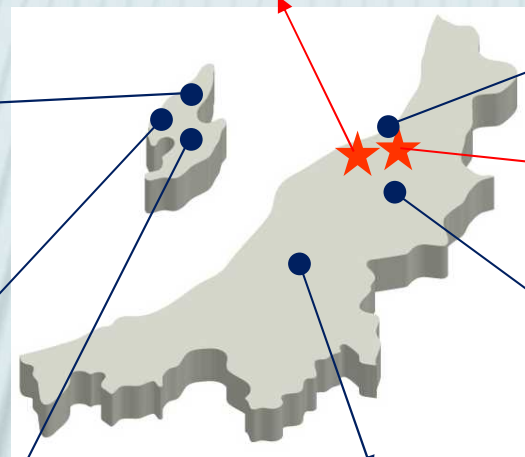
佐渡演習林



臨海実験所



朱鷺・自然再生学研究施設



五十嵐キャンパス



旭町キャンパス 【医歯学総合病院】



附属長岡校園



村松ステーション（農場）

～キャンパスづくりから施設整備・マネジメントの実施まで～

キャンパスづくりの在り方とは※

・既存キャンパスの長所を生かしていくことを前提に、知恵とアイデアを集め、大学の機能強化や個性・特色の伸長につながるキャンパスに再生するとした「創造的再生」がキャンパスづくりの基本的考え方として示されています。

※「キャンパスの創造的再生～社会に開かれた個性輝く大学キャンパスを目指して～」報告書（概要）より
文部科学省 平成25年3月国立大学等のキャンパス整備の在り方に関する検討会

施設マネジメントの実施

・「施設マネジメント」とは、管理する施設・設備について、総合的かつ長期的視点に立ち、教育研究を支援するための取り組みです。近年は、建物の長寿命化の計画策定や、スペースの有効活用に関する取り組みが重要となっています。

施設系技術職員はこれらの施設等の企画・設計・工事監理・維持管理など全てに関わります。

校舎，研究実験棟，研究所，図書館，附属病院，附属学校，食堂・保育施設等の福利厚生施設，体育館・屋外運動場等の体育施設，学生寮，及び広場や街路等を保有しています。

新潟大学先輩職員の声



施設管理部施設整備課
整備計画係
堀 智貴（H22年度採用）

私は建築分野を担当しており、主に設計や積算・工事監理を行っています。

今年で11年目を迎えますが、過去には企画・立案や完成後の施設の維持管理等、幅広い業務を経験できたため、様々な視点から施設が成り立っていく過程を見ることができました。これらの経験は現在にも繋がっており、ユーザーから問い合わせがあった際は、これまでの経験や知識を元に提案し、実際に案が採用されカタチになった時は喜びを感じます。

現在は文部科学省（文教施設企画・防災部）に行政実務研修生として出向しています。仕事内容は主に文科省営繕事業等に関する業務を中心に、維持保全に関する各種調査のとりまとめ、事例集作成などを行っており、省内だけでなく、国土交通省とも連絡を取り合いながら行っているため、大学とは違った意味で、良い緊張感を持ちながら業務に取り組んでいます。



施設管理部施設保全課
旭町保全係
高橋 桃子（H27年度採用）

私は建築分野を担当しており、現在は病院地区の修理依頼への対応、改修計画・工事、緑地管理や点検業務を行っています。

病院地区は日常的に修理の依頼が入る上、自身が病院内や構内を歩いているだけでも修理を要する箇所が見つかることもあります。修繕工事の依頼は緊急性を要するものが多く、スピーディな対応が求められます。

また、改修の計画・工事については、医師、看護師等の意見を伺いながら計画し、現場の稼働状況を把握しながら工事を進める必要があり、予定通りに計画や工事が進むことがないところが難しいですが、その解決策を考えることは非常にやりがいがあり、経験値にもなると考え、業務に励んでいます。

現在、資格試験（1級建築士）の合格に向けて日々勉強を重ねています。資格取得に対しては職場全体の理解があり、仕事との両立がしやすい点も大きな魅力であると感じています。

施設系技術職員の採用について

試験区分	
事務系	事務
	図書
技術系	電気
	機械
	土木
	建築
	電子・情報
	物理
	化学
	資源工学
	農学
	林学
	生物・生命科学

施設系技術職員
の試験区分

職員の採用方法は国立大学法人等が合同で実施する試験を通じて採用を行っています。

試験は、各地区別で行っています。
詳しくは、各地区採用試験事務室ホームページをご覧ください。電話、メール等でお問い合わせください。

各地区	電話	メール
北海道地区実施委員会	011-706-2018	saiyo@general.hokudai.ac.jp
東北地区実施委員会	022-217-5676	shiken@grp.tohoku.ac.jp
関東甲信越地区実施委員会 (新潟大学が所属する地区)	03-5841-2769	shikenjimu@gs.mail.u-tokyo.ac.jp
東海・北陸地区実施委員会	052-788-6053	shikenjimu@adm.nagoya-u.ac.jp
近畿地区実施委員会	075-753-2230	shiken@mail.adm.kyoto-u.ac.jp
中国・四国実施委員会	082-424-5616	shikenjimu@office.hiroshima-u.ac.jp
九州地区事務・技術系職員等 人事委員会	092-802-2340	shikenjimu@jimu.kyushu-u.ac.jp